

抗議文

駐日アメリカ合衆国大使館

特命全権大使

キャロライン・ケネディ大使 閣下

貴国が、ニューメキシコ州サンディア国立研究所において、今年9月4日と10月3日の2回、「Zマシン」を使用した核性能実験を実施していたとの情報に接しました。

貴国の度重なる核実験の実施は、今後も核兵器を持ち続ける意思を表したものであり断じて許すことはできません。

今世界では、核兵器の非人道性がさまざまな国際会議の場で明らかにされており、来年の核不拡散条約(NPT)再検討会議の成功に向けてもおおくの国の人々が行動を起こしています。

本来なら貴国自ら核軍縮の模範となるよう先導すべきであるにも拘わらず、実験を繰り返していることに憤りの念を禁じ得ません。

今後、実際に原爆を体験した被爆者の辛く悲しい体験や、平和への思いを深く理解していただき、兵器廃絶を願う世界の人々の期待を実現するために、今後、計画されている核実験をすべて中止するとともに、その主導的役割を果たされることを念願してやみません。

今回の貴国の核実験の実施に対し、非核平和都市宣言自治体として厳重に抗議します。そして茨木市民を代表して、一日も早い核兵器廃絶の実現に向けて努力されるよう強く求めますので、その旨を、本国へ伝達されますようお願いいたします。

2014年11月5日

大阪府茨木市長 木本保

